

# 雪国あおもりの暮らしを支える道づくり

## 対象事業の目的:

冬期間において安全で快適な歩行者空間を確保し、冬期バリアフリー対策に資する消融雪施設の整備のほか、安全で円滑な冬期道路交通を確保するとともに、地域経済圏の連携強化を図るための堆雪幅の確保・防雪施設の整備である。



### 要素事業

- 防雪柵 地吹雪による視界不良の解消
- 堆雪幅 雪寄せスペースの確保
- 歩道消融雪、流雪溝 安全安心な歩行者空間の確保
- 雪崩予防柵 雪崩による交通障害の予防



事業期間:平成16年度～平成19年度(4年間)

## 成果目標:

雪道安全空間確保延長( )の増加率  
( )流雪溝・防雪柵・路面融雪装置などで積雪期も道路空間が確保される延長

指標の現況値および目標値:

当初現況値 (H16当初)	中間目標値 (H17末)	長期目標値 (H19末)
100.0%	110.1%	116.7%



中間実績値(H17末):113.1%

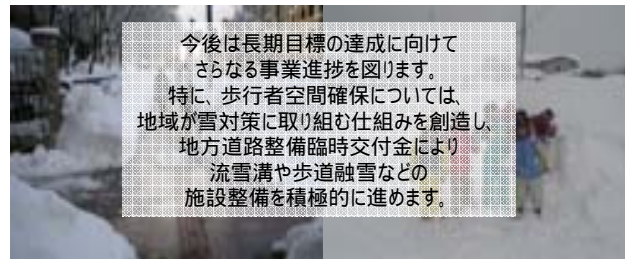
目標達成

## 今後の方針

成果目標達成に向けて継続投資



雪に強い青森県



今後は長期目標の達成に向けてさらなる事業進捗を図ります。特に、歩行者空間確保については、地域が雪対策に取り組む仕組みを創造し、地方道路整備臨時交付金により流雪溝や歩道融雪などの施設整備を積極的に進めます。

パッケージ4:整備事例

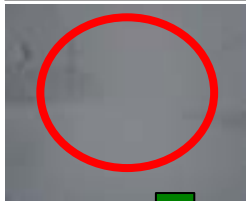
成果目標 : 雪道安全空間確保延長の増加

防雪柵

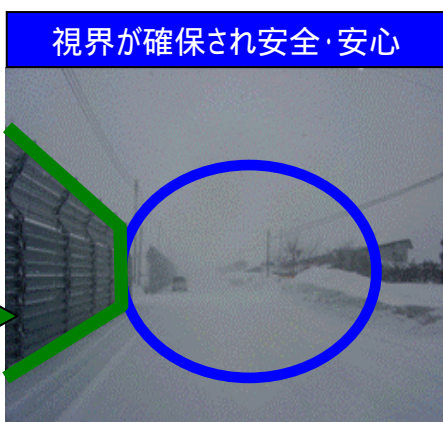
岩崎西目屋弘前線(弘前市中畑~櫻庭)  
事業期間:平成16年度~平成17年度



地吹雪により視界不良で  
前が見えず、とても危険



防雪柵



防雪柵の設置による地吹雪による視界不良解消  
車両交通の安全が確保されている延長が1km増加

歩道部無散水消雪施設(地熱ヒートパイプ)

青森環状野内線(青森市北金沢)  
事業期間:平成16年度



歩道融雪の整備により歩行者空間が確保  
歩行者の安全が確保されている延長が700m増加



ヒートパイプ